

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	米子聖園天使園一部改築工事	階数	地上3F
建設地	鳥取県米子市	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)、防	平均居住人員	45人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2019年11月28日
敷地面積	4,472 m ²	作成者	高島 永二
建築面積	1,095 m ²	確認日	2019年11月28日
延床面積	2,242 m ²	確認者	高島 永二

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア= 2.7**

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.8

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア= 2.9**

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項	
総合 一般的な水準を確保するような設計	その他 0
Q1 室内環境 児童養護施設として一般的な水準を確保するような設計	Q2 サービス性能 児童養護施設として一般的な水準を確保するような設計
Q3 室外環境(敷地内) 一般的な水準を確保するような設計	
LR1 エネルギー 省エネ基準に適合した設計	LR2 資源・マテリアル 部材の再利用可能性向上のため、躯体と仕上げ材を容易に分別可能とする
	LR3 敷地外環境 一般的な水準を確保するような設計

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される